

原町第三小学校便り

令和5年度 第3号（6月号）

文責：原町第三小学校長 林 典行

力戦奮闘の頑張りに拍手！！

第15回南相馬市小学校陸上競技大会

5月31日（水）南相馬市陸上競技大会が雲雀ヶ原陸上競技場で開催されました。振り返りますと、新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度は中止、令和3・4年度はご家族の皆さまの参観にご遠慮いただきましたので、通常通りの開催は4年ぶりのことでした。このように何の制限もない環境の下で、思いっきり、精一杯競技に臨んでいる子どもたちの姿を目の当たりして、「日常」という当たり前だと思っていた生活が、いかに貴重で大切なものなのか改めて実感した次第です。

選手として参加した6年生全員は、これまで、体育の時間はもちろんのこと、朝や放課後の時間も一生懸命練習に取り組んできました。時にはつらい気持ちになったこともあったかと思えます。大会当日は、入賞した子どもたち、悔しい思いをした子どもたち、それぞれの光景が見られました。

しかし、自分の目標をしっかり持ち、目標に向かって練習に励み挑戦する、そのような過程こそが大切なことです。練習に、競技に真剣な眼差しで臨む子どもたち一人一人の姿からは素晴らしさを感じました。子どもたち全員の頑張りを称賛するとともに、この経験はこれからの大きな成長の糧となるはずです。



梅雨の季節

「梅雨」の季節になりました。植物の生長にとってなくてはならないのが雨の日であり、また晴れの日です。どちらもちょうどよいバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。このように植物には反対のもの同士が必要となります。

子どもにも、雨と晴れのような関係のものが必要なのではないのでしょうか。それは、「やさしさ」と「きびしさ」であると思います。子どもたちは「やさしさ」だけでは甘えが出たり、わがままが出たりして、よい心は育ちません。また逆に、「きびしさ」だけでも気持ちがすさんだり、いじけたり、いらいらしたりして、よい心は育ちません。子どもたちは、がんばったときには優しくほめられ、過ちをしでかしたときにはきびしく叱ってもらうことを通して、的確に善悪を判断していく心が育っていくのだと思います。

さて、今月、5年生は、いわき自然の家で宿泊活動を行います。家庭を離れ、自分たちの力で2日間を過ごします。自分自身で行動予定を確認して活動したり、荷物を整理したり、布団をきちんとたたんだり、人に頼らない「生活力」が要求されます。

また、集団行動が多いので、いろいろな友達とも力を合わせて行動できる「協力する力」も必要です。2日間で培った力を、ぜひ学校生活や家庭生活にも役立ててほしいと願っています。

